

公募制推薦入試 前期日程

2科目型

併願制

募集学部・日程

試験日・試験地	方式	募集学部	出願期間	可否発表日	入学手続期間
2023年11/16(木) 大阪(本学:寝屋川キャンパス)・ 大阪(天王寺)・大阪(堺)・京都・草津・神戸・ 尼崎・姫路・奈良・和歌山・名古屋・岡山・高松	総合評価方式	法学部 理工学部 国際学部 薬学部	10/27(金)～ 11/6(月)	12/1(金)	・入学手続時納入金振込 ・UCARO入学手続
	基礎評価方式	経済学部 看護学部 経営学部 農学部 現代社会学部 理系科目型 文系科目型			一括手続 12/1(金)～12/12(火)
11/17(金) 大阪(本学:寝屋川キャンパス)・ 大阪(堺)・京都・神戸・奈良・和歌山	総合評価方式	法学部 理工学部 国際学部 住環境デザイン学科のみ 文系科目型			分割手続 1次手続 12/1(金)～12/12(火)
	基礎評価方式	経済学部 看護学部 経営学部 農学部 現代社会学部 文系科目型 全学科			2次手続 12/1(金)～ 2024年1/15(月)
	個別方式	理工学部 薬学部 生命科学科のみ			

※入学手続は「一括手続」または「分割手続」のいずれかを選択できます。

選考方法

1. 可否の判定は、つぎの各項目を総合して行います。
2. 各学部・学科の配点・試験時間割等、詳細はP.25以降をご確認ください。

法学部 国際学部 経済学部 経営学部 現代社会学部 看護学部 農学部	総合評価方式	必須	均等配点型	適性検査2科目 150点 150点	+	高校成績点 50点	+	諸活動・資格点 25点	=	満点 375点	可否判定
		併願可	傾斜配点型※	高得点科目 200点 100点	+	高校成績点 50点	+	諸活動・資格点 25点	=	満点 375点	可否判定
	基礎評価方式	必須	均等配点型	適性検査2科目 150点 150点					=	満点 300点	可否判定
		併願可	傾斜配点型※	高得点科目 200点 100点					=	満点 300点	可否判定
理工学部 11/16(木) 全学科 11/17(金) 住環境デザイン学科のみ 文系科目型 薬学部 11/16(木)	個別方式			適性検査2科目 150点 150点					=	満点 300点	可否判定
									=	満点 300点	可否判定

※均等配点型と同一の学部・学科を併願できます。

※均等配点型と同一の学部・学科を併願できます。

1 方式について (両方式とも均等配点型は受験が必須です。傾斜配点型は希望により併願が可能です。)

総合評価方式

高校等での頑張りを点数化し、試験結果に加点します。
調査書の「全体の学習成績の状況」を10倍して50点満点の高校成績点として加点します。
所持資格や高校等での諸活動を諸活動・資格点として、最大25点まで加点します。(P.17参照)

基礎評価方式

調査書を点数換算せず、適性検査の総合点で可否を判定します。**英語資格等保持者優遇制度(みなし得点制度)**
により、基準を満たせば適性検査の英語を得点換算します。(P.17参照)

2 試験日・選考方式・型 自由選択制

- 理工学部(建築学科・都市環境工学科・機械工学科・電気電子工学科)を除く学部・学科は試験日を選択できます。
2日間とも受験することが可能です。
- 1日目と2日目で異なる学部・学科、あるいは、同一学部・学科を受験することも可能です。
- 両日とも「総合評価方式」と「基礎評価方式」については、いずれか、または両方式を選択できます。同一試験日に**最大4出願**できます。
農学部の11/16(木)は、【理系科目型】と【文系科目型】のいずれかを選択できます。

3 得意科目を活かせる傾斜配点型(併願)

受験した2科目のうち**高得点科目を200点満点に換算**します。得点換算は本学で自動的に行うため、事前申告は不要です。

4 合否判定は方式・型別に行います

両方式・型を出願する場合は、例えば「総合評価方式の均等配点型が合格」「基礎評価方式の均等配点型は不合格」というケースも生じます。

適性検査科目

(1科目60分 100点満点)

学部・学科			科目名
	法学部 国際学部		「英語」「国語」
		経済学部 経営学部 現代社会学部	「英語」「国語/数学(X)から1科目選択」
理工学部	11/16(木)	生命科学科	「化学(X)/生物から1科目選択」 「英語/数学(Y)から1科目選択」
		住環境デザイン学科 建築学科 都市環境工学科 機械工学科 電気電子工学科	「数学(Y)」「英語/物理から1科目選択」
	11/17(金)	住環境デザイン学科 文系科目型	「数学(X)」「英語」
		生命科学科[個別方式]	「化学(Y)」「国語/数学(X)から1科目選択」
薬学部	11/16(木)		「化学(X)」「英語/数学(Y)から1科目選択」
	11/17(金) [個別方式]		「化学(Y)」「国語/数学(X)から1科目選択」
	看護学部		「英語」「国語/数学(X)から1科目選択」
農学部	11/16(木)	理系科目型 全学科	「英語」「数学(Y)/化学(X)/生物から1科目選択」
	11/16(木) 11/17(金)	文系科目型 全学科	「英語」「国語/数学(X)から1科目選択」

①選択科目は試験当日に選択 ②出題形式は全て「マークセンス方式」による選択式のみです。

出題範囲

科目名	出題範囲
英語	コミュニケーション英語 I・II・III、 英語表現 I・II
国語	国語総合(近代以降の文章)・ 現代文B
数学(X)	数学I・A
数学(Y)	数学I・II・A・B(数列、ベクトル)
物理	物理基礎
化学(X)	化学基礎・化学
化学(Y)	化学基礎・化学 (ただし高分子化合物の範囲は除く)
生物	生物基礎・ 生物(①生命現象と物質、 ②生殖と発生、 ③生物の環境応答)

公募制推薦入試 後期日程

2科目型★

併願制

★現代社会学部は1科目型

募集学部・日程

試験日・試験地	募集学部	出願期間	合否発表日	入学手続期間
2023年12/15(金) 大阪(本学:寝屋川キャンパス)	法学部 国際学部 経済学部 経営学部 現代社会学部 理工学部 薬学部 看護学部 農学部	11/25(土)～12/5(火)	12/27(水)	・入学手続時納入金振込 ・UCARO入学手続 一括手続 12/27(水)～2024年1/15(月)

選考方法

- 1.合否の判定は、つぎの各項目を総合して行います。
- 2.各学部・学科の配点・試験時間割等、詳細はP.25以降をご確認ください。

法学部 国際学部 経済学部 経営学部 理工学部 農学部	総合評価方式 適性検査2科目 200点 100点 + 高校成績点 50点 + 諸活動・資格点 25点 = 満点 375点 合否判定
	→P.17参照
	基礎評価方式 適性検査2科目 200点 100点 = 満点 300点 合否判定
現代社会学部	総合評価方式 適性検査1科目(国語) 200点 + 面接 100点 + 高校成績点 50点 + 諸活動・資格点 25点 = 満点 375点 合否判定
	→P.17参照
	基礎評価方式 適性検査1科目(国語) 200点 + 面接 100点 = 満点 300点 合否判定
薬学部 看護学部	総合評価方式 適性検査2科目 200点 100点 + 面接 100点 + 高校成績点 50点 + 諸活動・資格点 25点 = 満点 475点 合否判定
	→P.17参照
	基礎評価方式 適性検査2科目 200点 100点 + 面接 100点 = 満点 400点 合否判定

1 方式について

総合評価方式

高校等での頑張りを点数化し、試験結果に加点します。
調査書の「全体の学習成績の状況」を10倍して50点満点の高校成績点として加点します。
所持資格や高校等での諸活動を諸活動・資格点として、最大25点まで加点します。(P.17参照)

基礎評価方式

調査書を点数換算せず、適性検査の総合点で可否を判定します。**英語資格等保持者優遇制度(みなし得点制度)**
により、基準を満たせば適性検査の英語を得点換算します。(P.17参照)

2 選考方式 自由選択制

「総合評価方式」と「基礎評価方式」については、いずれか、または両方式を選択できます。

3 可否判定は選考方式別に行います

両方式を出願する場合は、例えば「総合評価方式が合格」「基礎評価方式は不合格」というケースも生じます。

面接の形式等

現代社会学部

薬学部

看護学部

現代社会学部	形式	グループ面接(1グループ5人程度:受験者数により若干増減します)	所要時間	1グループ30分程度
	内容	志望動機のほか、将来の目標・夢とその実現を目指すために大学で学びたいことや挑戦したいこと、現代社会の抱える課題について、自分なりに探究したいことなど、について質問します。また、高校生活で他者と協力して精力的に取り組んできた活動(例えば、探究活動、課外活動、ボランティア活動など)についても確認します。		
薬学部	形式	グループ面接(1グループ5人程度:受験者数により若干増減します)	所要時間	1グループ20分程度
	内容	志望動機や、将来の目標・医療・健康・福祉に対する興味や考えなどについて質問します。医療人を目指す者としての資質・能力などを評価すると同時に、6年間の勉学に真剣に取り組む強い意思があるかなどを確認します。		
看護学部	形式	グループ面接(1グループ5人程度:受験者数により若干増減します)	所要時間	1グループ20分程度
	内容	志望動機や、将来の目標・夢などについて将来看護職者となるための素養を身につけているかを確認します。また、医療現場で起こることが想定される出来事に対して、自分の意見を述べられるかについても確認することがあります。なお、その出来事に対しての正しい判断を問うのではなく、自らの意見を合理的に説明できるかをみるものです。 ※医療人を目指す者としての資質・能力などを評価します。		

適性検査科目

(1科目60分 100点満点)

学部		科目名
法学部 国際学部		「英語」「国語」
経済学部 経営学部		「英語」「国語/数学(X)から1科目選択」
現代社会学部		「国語」
理工学部	生命科学科	「化学/生物から1科目選択」 「英語/数学(Y)から1科目選択」
	住環境デザイン学科	「数学(Y)」 「英語/物理から1科目選択」
	建築学科	
	都市環境工学科	
	機械工学科 電気電子工学科	
薬学部		「化学」「英語/数学(Y)から1科目選択」
看護学部		「英語」「国語/数学(X)から1科目選択」
農学部	農業生産学科 応用生物科学科 食品栄養学科	「英語」「数学(Y)/化学/生物から1科目選択」
	食農ビジネス学科	「英語」「国語/数学(X)から1科目選択」

①選択科目は試験当日に選択 ②出題形式は全て「マークセンス方式」による選択式のみです。

出題範囲

科目名	出題範囲
英語	コミュニケーション英語 I・II・III、 英語表現 I・II
国語	国語総合(近代以降の文章)・ 現代文B
数学(X)	数学I・A
数学(Y)	数学I・II・A・B(数列、ベクトル)
物理	物理基礎
化学	化学基礎・化学
生物	生物基礎・ 生物(①生命現象と物質、 ②生殖と発生、 ③生物の環境応答)

▶ 英語資格等保持者優遇制度（みなし得点制度） 基礎評価方式

- ①2021年4月以降に合格または取得したスコアを対象とします。各入試の出願期間内に合否が発表されていない英語試験の結果は対象としません。
- ②下表に示すいずれかの条件を満たし、当該制度の適用を希望する場合、英語適性検査の得点にみなして換算します。なお、合否判定には、本制度により換算した「みなし得点」と実際に受験して得た英語適性検査の得点のうち、高得点の方を採用します。

英語試験名	適性検査「英語」		
	満点の100% (注)1	満点の90% (注)2	満点の80% (注)2
実用英語技能検定 (注)3	「1級or準1級合格」 もしくは「準1級以上 受験によるCSEスコア 2300点以上」	「2級合格(CSEスコア 2125点以上)」もしくは 「準1級以上受験による CSEスコア2125点以上」	「2級合格」もしくは 「準1級以上受験による CSEスコア1950点以上」
GTEC(4技能版) [オフィシャルスコアに限る]	1180点以上	1055点以上	930点以上
TOEIC® L&R / TOEIC® S&W [IP不可] (注)4	1560点以上	1355点以上	1150点以上
TOEIC® L&R [IP不可]	785点以上	665点以上	550点以上
TOEIC® Bridge L&R/TOEIC® Bridge S&W [IP不可]	-	-	170点以上
TOEIC® Bridge L&R [IP不可]	-	-	84点以上
TOEFL iBT® [ITP不可]	72点以上	57点以上	42点以上
IELTS (Academic Module)	5.5以上	5.0以上	4.0以上
TEAP (4技能)	309点以上	267点以上	225点以上
TEAP CBT	600点以上	510点以上	420点以上
ケンブリッジ英語検定 (注)5	160点以上 [B1 Preliminary以上受験]	150点以上 [B1 Preliminary以上受験]	140点以上 [B1 Preliminary以上受験]

- (注)1.満点の100%に該当する場合は、英語適性検査の受験を免除します。ただし、「総合評価方式」を併願する場合は、英語適性検査の受験が必要です。
- 2.満点の90%、満点の80%に該当する場合は、英語適性検査の受験が必要で、欠席した場合は不合格となります。
- 3.従来型、CBT、S-CBT、S-Interviewのいずれも対象とします。
- 4.TOEIC® S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアとします。
- 5.CBT Linguaskillも対象とします。

▶ 諸活動・資格点 主体的な取り組みを評価します。 総合評価方式

- ①各評価事項については、各種活動の種類・実績、資格の種類等に応じて点数化します。
- ②取得資格における資格取得年月日は問いません。
- ③出身学校において確認可能な項目に限ります。

(注意) 複数の評価事項に該当する場合、

- 1.同区分の評価事項については、最高実績のみを採用し、重複加算はしません。
- 2.異区分の評価事項については、25点を限度として加算します。

	区分	評価（点数）				
		15点	10点	8点	6点	2点
諸活動評価基準	生徒会等活動	生徒会会長を1期以上つとめる	生徒会執行部役員を1期以上つとめる	体育祭・文化祭の実行委員長を1期以上つとめる	_____	_____
	課外活動	主将または部長を1期または1年以上つとめる	副主将または副部長を1期または1年以上つとめる	_____	_____	出願時迄に同一クラブに2年以上継続して在籍（同好会・サークル、マネージャーを含む）
	その他	在学中に、6カ月以上の海外留学経験がある	寮長を1期または1年以上つとめる	_____	_____	皆勤賞（欠席0日）または精勤賞（1～3日間の欠席） ※ 高校1年次～出願時まで

※皆勤賞または精勤賞に該当するかは、受験者の出身高校の定める基準に準じて判断します。

区分	試験・資格名 (主催団体名等)	評価(点数)				
		15点	13点	10点	6点	3点
英語	実用英語技能検定(日本英語検定協会) (注)1	[1級or準1級合格] もしくは[準1級以上 受験によるCSEスコア 2300点以上]	[2級合格(CSEスコア 2125点以上)]もしくは [準1級以上受験による CSEスコア2125点以上]	[2級合格]もしくは [準1級以上受験による CSEスコア1950点以上]	[準2級合格]もしくは [2級以上受験による CSEスコア1700点以上]	3級合格
	GTEC(4技能版)[オフィシャルスコアに限る] (ベネッセコーポレーション)	1180点以上	1055点以上	930点以上	680点以上	260点以上
	TOEIC® L&R/TOEIC® S&W [IP不可] (注)2 (国際ビジネスコミュニケーション協会)	1560点以上	1355点以上	1150点以上	625点以上	320点以上
	TOEIC® L&R [IP不可] (国際ビジネスコミュニケーション協会)	785点以上	665点以上	550点以上	400点以上	300点以上
	TOEIC® Bridge L&R/TOEIC® Bridge S&W [IP不可] (国際ビジネスコミュニケーション協会)	—	—	170点以上	140点以上	110点以上
	TOEIC® Bridge L&R [IP不可] (国際ビジネスコミュニケーション協会)	—	—	84点以上	68点以上	54点以上
	TOEFL iBT® [ITP不可](国際教育交換協議会)	72点以上	57点以上	42点以上	35点以上	28点以上
	IELTS(Academic Module)(日本英語検定協会)	5.5以上	5.0以上	4.0以上	3.0以上	2.0以上
	TEAP(4技能)(日本英語検定協会)	309点以上	267点以上	225点以上	135点以上	—
	TEAP CBT(日本英語検定協会)	600点以上	510点以上	420点以上	235点以上	—
日本語	ケンブリッジ英語検定 (ケンブリッジ大学英語検定機構) (注)3	160点以上 [B1 Preliminary]以上受験]	150点以上 [B1 Preliminary]以上受験]	140点以上 [B1 Preliminary]以上受験]	120点以上 [A2 Key]以上受験]	—
	日本漢字能力検定(日本漢字能力検定協会)	1級	準1級	2級	準2級	3級
	文章読解・作成能力検定(日本漢字能力検定協会)	—	—	2級	準2級	3級
	日本語検定(日本語検定委員会)	1級	準1級	2級	準2級	3級
情報パソコン	情報処理技術者試験(情報処理推進機構)	基本情報技術者	情報セキュリティ マネジメント	ITパスポート	—	—
	情報処理検定試験(全国商業高等学校協会)	—	—	ビジネス情報部門1級 または プログラミング部門1級	—	ビジネス情報部門2級 または プログラミング部門2級
	情報技術検定試験(全国工業高等学校長協会)	—	—	1級	—	2級
	パソコン利用技術検定試験(全国工業高等学校長協会)	—	—	1級	—	2級
	ビジネス文書実務検定試験(全国商業高等学校協会)	—	—	—	ビジネス文書部門1級 および速度部門1級	ビジネス文書部門2級 および速度部門2級
簿記	簿記検定試験(日本商工会議所)	1級	—	2級	—	3級
	簿記実務検定試験(全国商業高等学校協会)	—	—	1級	1級会計または 1級原価計算	2級
珠算	珠算能力検定試験(日本商工会議所)	—	—	—	1級	準1級または2級
数学計算	実用数学技能検定((財)日本数学検定協会)	—	—	1級	準1級	2級
	計算技術検定試験(全国工業高等学校長協会)	—	—	1級	—	2級
その他	危険物取扱者乙種(消防試験研究センター)	—	—	—	取得	—
	造園施工管理技術検定(全国建設研修センター)	2級技士補	—	—	—	—
	初級CAD検定試験(全国工業高等学校長協会)	—	—	—	—	合格
	3次元CAD認定技術者試験(ソリッドワークス・ジャパン株式会社)	—	—	CSWP	CSWA	—
	建築CAD検定試験(全国建築CAD連盟)	準1級	2級	—	3級	4級
	2次元CAD利用技術者試験(コンピュータ教育振興協会)	—	—	—	1級	2級または基礎
	3次元CAD利用技術者試験(コンピュータ教育振興協会)	—	—	1級	準1級	2級
	電気主任技術者試験(電気技術者試験センター)	3種以上	—	—	—	—
	電気工事士試験(電気技術者試験センター)	1種技能合格	—	2種	—	—
	土木施工管理技術検定(全国建設研修センター)	2級技士補	—	—	—	—
	建築施工管理技術検定(建設業振興基金)	2級技士補	—	—	—	—
	電気工事施工管理技術検定(建設業振興基金)	2級技士補	—	—	—	—
	管工事施工管理技術検定(全国建設研修センター)	2級技士補	—	—	—	—
	建設機械施工管理技術検定(日本建設機械施工協会)	2級技士補	—	—	—	—
	電気通信工事施工管理技術検定(全国建設研修センター)	2級技士補	—	—	—	—
	建築大工技能士(厚生労働省(中央職業能力開発協会))	2級	—	3級	—	—
	木造建築士(建築技術教育普及センター)	取得	—	—	—	—
	日本農業技術検定(全国農業会議所)	—	—	1級	2級	3級
	ニュース時事能力検定(日本ニュース時事能力検定協会)	1級	2級	準2級	—	3級

(注)1. 従来型、CBT、S-CBT、S-Interviewのいずれも対象とします。 2. TOEIC® S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアとします。 3. CBT Linguaskill も対象とします。